

Mozart Phono Professional

真空管式・モノラル・イコライザ・アンプ
Tube Phono Mono Equalizer Amplifier

取り扱い説明書
Operation Manual

SoundBox

はじめに

この度は「モーツァルト・フォノ・プロフェッショナル」真空管式フォノ・イコライザ・アンプをお買い上げいただきありがとうございます。このアンプの性能を十分に発揮させ、また安全にご使用いただくためにこの取り扱い説明書をよくお読みになり末長くご使用下さい。

初期(モノラル)LP盤を聴いていてその音に違和感を覚えたことはありませんか.....? その率直な疑問から本機は企画されました。1948年に出現したLPはそのディスク・カッティングにおける定速度と定変位の妥協点としての電気記録特性はLP初期の時代には(後にRIAAに統一されるまでは)レコード会社はそれぞれに独自の規格のもとにイコライジングしプレスしていました。さらにLP時代になってカートリッジの出力レベルが低くなると、この録音特性をフラットにするためのイコライザーアンプをプリアンプの前段にもうけるようになります。RIAAにイコライザーカーブが統一されるまでの初期LPレコードでは各レーベルによってまちまちのイコライザーカーブでプレスされていますから、それぞれレコード・レーベルに応じたイコライザーカーブを用意する必要があるわけです。

本機ではモーツァルト・フォノ・イコライザ・アンプでは6種に限定されていたイコライザ・カーブをターンオーバーとロールオフを別々に設定することを可能にしたことによりLP初期盤はもちろんのこと、今まで対応が困難であったSP(78)レコード盤再生をターンオーバーとロールオフのセッティングの組み合わせにより本来のイコライザ・カーブでの再生が可能です。

Intoroduction

Thank you for selecting the Mozart Phono Professional Equalizer Amplifier.

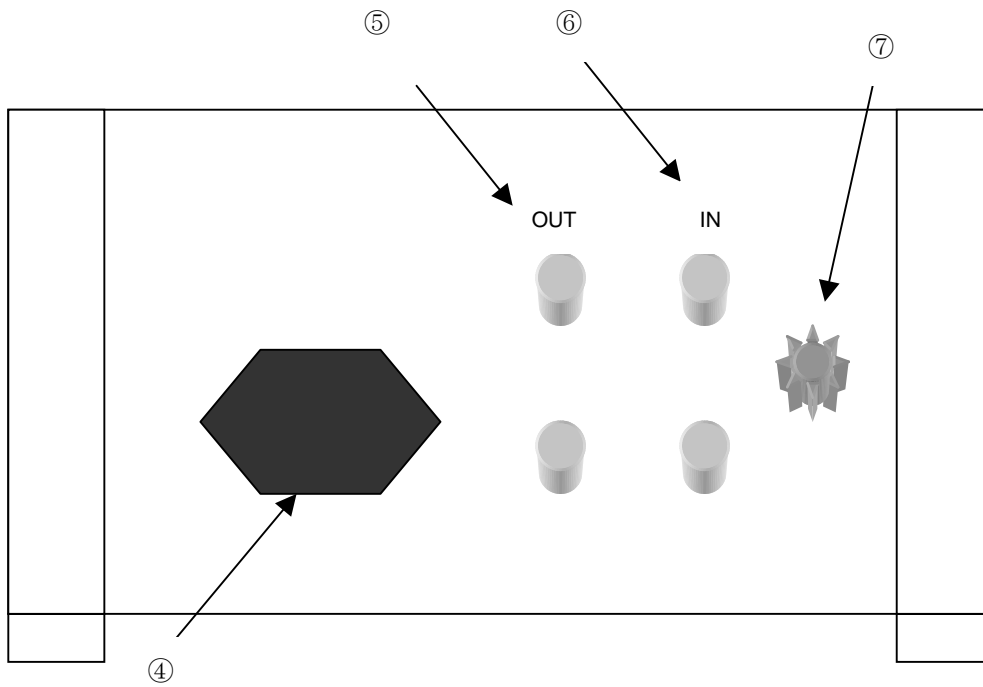
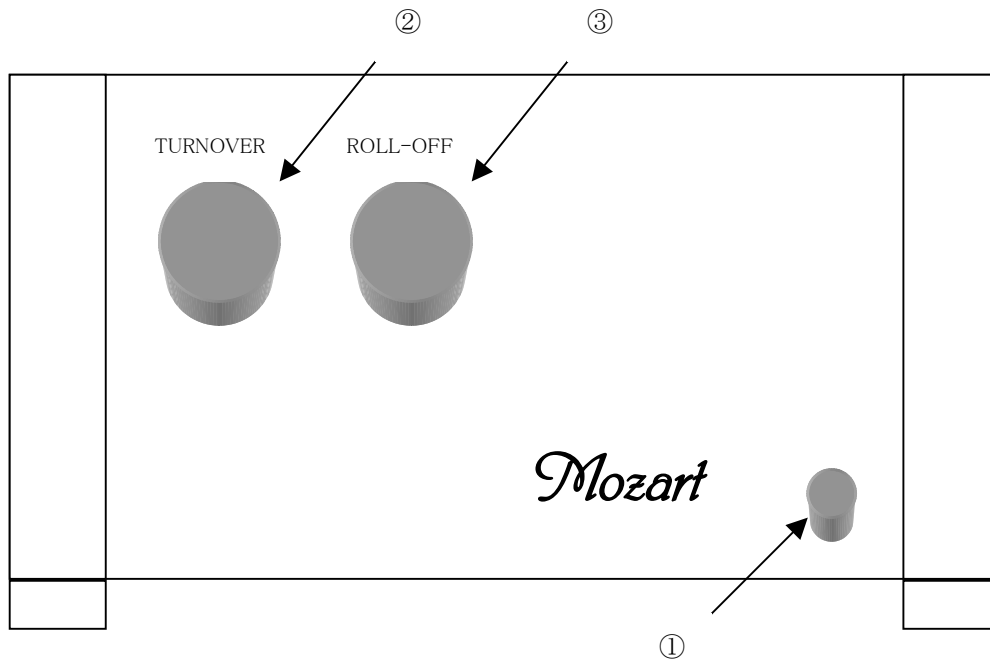
Please read through this reference manual so that you will fully understand operation of our Mozart Phono Equalizer amplifier properly. After you have finished reading this manual, put it in a safe place for future reference.

Today's modern audiophile equipment can sometimes be frustrating to playing such old records as 78 and early LP (mono). Most of all modern preamp are designed only for today's microgroove, RIAA equalized recording.

The Mozart Phono Professional Equalizer Amplifier has separate Turnover(low frequency) and Rolloff(high frequency) control, which enable you to set appropriate equalizer curve to play any kind of records.

We have done out utmost in the design and built the Mozart Phono Professional Equalizer amplifier to ensure you a low maintenance, trouble free design and construction will being you many years for pleasure of playing records, from 78 through LP Stereo.

各部の機能／Function



- ①電源スイッチ ON/OFF Switch
- ②ターンオーバー(低域)・セクター Turnover Selector
- ③ロールオフ(高域)・セクター Turnover Selector
- ④電源コンセント AC Power Receptacle
- ⑤出力端子 Output RCA Connector
- ⑥入力端子 Input RCA Connector
- ⑦アース端子 Grand Terminal

* 入力端子と出力端子の接続

アンプ背面にあるRCA入力端子にカートリッジ(プレーヤー)からの信号入力用ピンコードを差し込みます。本機はボリューム、入力切替機能をもっていません。出力はプリアンプのAUX等のライン・レベル入力端子に接続します。パワーアンプに直接入力する場合はフェーダーを間に入れて使用することもできます。入力・出力端子の赤のストライプが右チャンネルに白のストライプは左チャンネルに対応します。

* Connections

All input and output utilize gold RCA connectors; therefore all input and out cable should be terminated with connectors for high quality one. RED striped connector denote the RIGHT channel and WHITE lined connectors denote the LEFT channel respectively. In case of Mono version, R-ch and L-ch positive parallel connected inside both in input and output.

* カートリッジについて

入力は通常のMMタイプのカートリッジに対応しています。MCカートリッジをご使用になる場合はMC昇圧トランスやMCヘッド・アンプを入力の前に接続してください。

* Pickup cartridges

The Mozart Phono Equalizer Amplifier accept only high output MM type pickup cartridges. In case of MC type pickup cartridges, please use step up devices such as high quality MC Transformer or Head Amplifier (Pre-Pre Amplifier).

* 電源

付属の電源コードを本体に差し込み100VAC、50/60HzのACコンセントに接続します。本機は日本仕様ですので必ずAC100Vでご使用下さい。

* Power Supply

AC power must be selected designated Voltage as shown on the back. Otherwise it may cause of severe damage in power circuitry inside of the amp.

* アース端子について

アンプ背面の入出力端子の横にある端子にアース線をプレーヤーからのアース線を接続してください。アースのリード線の取り方によってループ・ハムが出る場合はアース線を接続しないでください。

* Grounding

Ground terminal on the back for connecting the turntable ground lead as well as MC transformer ground. Always follow the turntable manufacturer instructions for grounding, as incorrect grounding could cause of "Hum" or result in degraded sound quality.

* 真空管について

本機では使用する真空管をMT管の中でも内部抵抗の低いECC85(6AQ8)を採用、CR型の回路構成で低インピーダンス動作させることによりイコライザーに要求される高いクォリティーの音質を実現しています。

* Tube

The Mozart Phono EQ Amp uses ECC85(6AQ8) that is suitable for CR equalizer circuitry. It works in low impedance and makes high quality sound reproduction.

* 操作

最初に電源を投入する際は先ず入力と出力のピン・コード、電源コードが確実に接続されているのを確かめます。お聴きになるレコードのレーベルを確認して、イコライザのポジションをレコードに合ったターンオーバーとロールオフ・セレクターつまみを廻してそのレーベルに合ったポジションを選択します。次に本機の正面右の電源スイッチを押し電源を入れます。真空管が暖まり動作が安定(約30秒から1分程度)しましたら接続しているプリアンプのボリュームを右方向(時計回り)に少しずつ回して好みの音量にして下さい。電源を切る時は先にパワーアンプ、次にプリアンプの電源を切ってから最後に本機の電源をオフの状態にします。

「モーツァルト・フォノプロフェッショナル」真空管式LPイコライザーアンプはターンオーバー(低域補正周波数)として FLAT、250Hz、400Hz、RIAA、750、800Hzの6種、またロールオフ(高域補正周波数)は FLAT、-5dB、-10dB、-12dB、RIAA、NAB の6種を組み合わせることによりほとんどあらゆるイコライザーカーブに対応します。イコライザー・ポジションの決定に当たっては、まずレコードの種類(78回転のSPか33ないし45回転のLPか)、レーベル、そのレコードの時代等の必要なデータを確認して別紙のイコライザー・チャート表から再生するレコードの該当するイコライザー・ポジションを見つけます。次にイコライザーポジションつまみ(ターンオーバーとロールオフ・セレクターつまみを)そのポジションに回してイコライザーカーブを選択します。但し、LPモノラル盤でも最近プレスされている、いわゆる復刻盤のモノラル・LPレコードはRIAA・カーブでイコライジングされプレスされているレコードもありますので注意が必要です。

* Operation

Please make sure all RCA terminals are connected with turntable output and preamplifier input respectively, before turning ON the amplifier. This amplifier is tube circuitry device, so warming up time will be required, when you firstly turn ON the amplifier. It usually takes approximately at least 2-3 minutes. After it runs normally, then turn on Pre-Amplifier and then Power amplifier. When it turns OFF, firstly turning OFF power amplifier, pre amplifier and the EQ Amplifier.

This EQ amplifier has six different turnover frequencies and six different rolloff frequencies and its combination enable to play almost all kind of disc records including cylinder records as well. You can select desirable EQ curbs (position) on the front Turnover and Rolloff selector, in which is determined by Speed, Record Label and age, in order to find suitable EQ curb can be looked up in the Label and EQ position chart in this manual. Unless you can find any specific speed and label in the list, please try some similar EQ curbs and then decide mostly preferable position after your test listening. Please note some re-cutting LP mono records encoded in RIAA. In that case RIAA must be chosen. Generally speaking, all records manufactured after 1955 are RIAA curb.

ターン・オーバー**ロール・オフ****Turn Over****Roll Off****F L A T****F L A T****2 5 0 Hz****- 5 dB****4 0 0 Hz****- 1 0 dB****R I A A****- 1 2 dB****7 5 0 H z****R I A A****8 0 0 H z****N A B***** 本体のクリーニングについて**

本体をクリーニングする際はアルコール、シンナー等の溶剤を使用しないで下さい。表面はデリケートなアルマイト仕上げですので、柔らかい布等でご扱いは拭き取って下さい。文字は強くこすると消えることがありますので注意してください。

* When you clean the unit, please do not use any Alcohol or solvent. It may damage the surface, and it may be rubbed off the lettering. Please use mild water with soft cloth.

*** 本体ボディーの傷について**

本機は一台一台丁寧に手作りされています。本体のアルミ・ボディー、前面のアルミ・パネルは表面が大変柔らかいため製造過程で若干のスクラッチが生ずることがあります。御了承下さい。

* This unit is hand crafted carefully by skilled craftsmanship. I hope you enjoy very special LP Mono record reproduction.

*** Warranty**

All Mozart products are guaranteed for one full year from date of purchase. Parts and labor will be furnished free of charge. The manufacture assumes NO responsibility for damaged or abused equipments and reserved the right to determine cause of defects. Service or modification by unauthorized personal will invalidate this warranty.

主な仕様 Specification

入力感度 Input sensitivity:	2.5mV/1kHz/47k Ω (MM)
許容入力 Maximum Input:	500mV
入力インピーダンス Input Impedance:	57k Ω
RIAA偏差 RIAA Accuracy:	± 1 dB (including All EQ Curbs)
利得 Gain:	35dB/1kHz
S/N比 S/N Ratio:	76dB以上
使用真空管 Tubes:	ECC85/6AQ8 3本
出力インピーダンス Output Impedance :	4.5k Ω (1kHz)
推奨インピーダンスは10K Ω 以上	
消費電力 Power Consumption:	30W
寸法 Dimensions:	250(W)x105(D)x103(H)mm
重量 Weight:	2.5kg

<モーツァルト真空管アンプ製品全般に関する一般的注意事項>

* 真空管は差す位置が決められています。真空管をアンプにセットする場合は必ず真空管配置図を参照しながら決められた位置に差してください。

* 真空管は電源スイッチを入れた直後、瞬間的に内部のヒーターが大変明るく光ることがあります。これは低い温度でヒーターに電流を流すとヒーターの内部抵抗分が小さくなっているために大きな電流が流れヒーターが通常よりも明るく光るためです。ヒーターが次第に温まってきますと温度上昇により内部抵抗が大きくなりヒーターは一定の明るさを保つようになります。したがって電源投入直後のヒーター発光は異常ではありません。

* 使用されている電解コンデンサーは高品質のものを使用していますが電解液の性質上長期間通電しない状態が続きますと電解液が変質することがあります。6ヶ月に1度はご使用になってない時でも通電されることをお勧めします。

* 電源を投入後、真空管の動作が安定するまでの間ガサガサといったノイズがでることがあります。これはトラブルではありません。真空管の特性と電源投入後に動作が安定するまでに多少時間がかかります。2-3分ぐらいで動作は安定します。音質の面からは動作が安定するまで30分程度のウォームアップが必要です。電源を投入する場合は必ず(音楽)ソースの入りの機器から電源を投入しプリアンプそして最後にパワーアンプの電源を入れます。たとえばチューナーを電源を最初に入れて次にプリアンプの電源そしてパワーアンプの電源というふうの間隔をあけて電源を入れて下さい。一方電源を切る場合は反対にまずパワーアンプの電源を切り、次にプリアンプさらに(音楽)ソースの機器を切るようにして下さい。本機では音質劣化につながるミュート回路を採用していませんのでパワーアンプの電源を最初に入れておいてプリアンプの電源を入れたりパワーアンプの電源を切らずにプリアンプの電源を切りますと思わぬ大きなショックノイズがでることがあります。

* 真空管式パワーアンプの出力管は相当の熱がでます。とくにお子様が真空管に手を触れぬようご注意ください。思わぬ火傷やケドをすることがあります。また、アンプの設置は空気の流れ(対流)を考えて下さい。アンプの上方には少なくとも30cm程度の空間を確保して下さい。ジュウタンの上に直接置くことは避けて下さい。熱がこもる原因となりアンプの寿命を短めることとなります。電源を入れてから約40分ぐらいまでは温度上昇が続きますがそれ以降は安定します。また燃えやすいものを通電したまま長時間真空管に近づけたり乗せたりすることは避けて下さい。火災の原因をなることがあります。

* 使用されているパワートランス(電源トランス)は日本国内用100V(50/60Hz)に設計製作されたものです。電源は必ず100Vを使用して下さい。電源トランスは内部の絶縁材が振動して多少うなりを生ずることがありますが故障ではありません。

* 一般家庭用100V電源にはホットとコールド(大地アース側)がありACプラグをコンセントに差すときプラグの左右を逆にすると音質が変化することがあります。コンセントの左右を入れ替えて音質の差がでる場合は音質の良い方を選んで差し込んで下さい。

* 電源スイッチのON/OFFを繰り返さないで下さい。電源を切って再度入れるときは最低30秒待ってから再投入をしてください。すぐ電源を投入しますと大きな電流が流れて真空管をいためます。

* 真空管は電球と同じように消耗品です。保守用に1セット分の真空管をお持ちになることをお勧めします。同じ型番の真空管は勿論ですが同じ型番以外でも相当管で互換性のある真空管も使用可能です。

<品質保証とアフターサービス>

保証期間はお買い上げ頂いた日より本体については1年、真空管については6ヵ月です。この間に発生した自然故障は保証規定にもとずいて無償修理致します。

<修理をご依頼される前に>

故障と思われるときでも、次のようなことが原因となっている場合があります。念のためもう一度チェックしてみてください。

a) 電源スイッチを入れても真空管が点灯しない。

ACプラグがコンセントからはずれているかまたは十分にさしこまれていますか？

b) 電源が入り真空管も点灯しているが音が出ない。

正面のメインボリュームが絞ってありませんか？

プリアンプとソース(音元)機器、プリアンプとパワーアンプ間の接続や操作に誤りはありませんか、またプリアンプの電源は入っていますか？

スピーカーケーブルは正しく接続されていますか、またスピーカーケーブルがショートしていませんか？

ソース機器(CDプレーヤー、チューナー、テープデッキ等)の操作に間違いはありませんか？

プリアンプの入力切り替えスイッチ、テープモニタースイッチ等の操作に誤りはありませんか？

c) 片チャンネルからしか音が出ない。

スピーカーケーブルが片方はずれていませんか？

入力端子の接続が正しくされていますか？

プリアンプの左右のレベルバランスつまみが左右どちらか一杯にしぼりこまれていますか？

上記の点をご確認いただき故障原因がわからないときはお買い上げの販売店または弊社にご相談下さい。

サウンドボックス

SoundBox

Zenkyoren Bldg, 2-7-9 Hirakawacyo,

Chiyodaku, Tokyo 102-0093 Japan

<http://www.soundbox.co.jp>

Tel: (81) 3-3264-5321 Fax: (81) 3-3230-2519